



主 催

アジア太平洋ゴルフ連盟 **8/カンテレ**

三菱商事 日本ゴルフ協会

特別協賛

三菱商事 **KIRIN** 三菱自動車

三菱電機 ダンロップスポーツマーケティング

伊藤ハム 第一三共ヘルスケア 東京海上日動

三菱UFJモルガン・スタンレー証券 三菱地所 明治安田生命

協 賛

三菱重工 三菱倉庫

50th ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP
DIAMOND CUP GOLF
戦いの舞台は **武蔵。**

ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP
DIAMOND CUP GOLF

ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP
DIAMOND CUP GOLF

アジアパシフィック オープンゴルフ チャンピオンシップ
ダイヤモンドカップゴルフ 2018
9/20(木)21(金)22(土)23(日)
武蔵カントリークラブ 笹井コース
〒350-1327 埼玉県狭山市笹井412

CONTENTS

- 04-08 | GREETINGS
ご挨拶
- 10-14 | TOURNAMENT FACTS
大会実施要項
賞金・優勝副賞・特別賞
大会役員
- 17 | 2017 REVIEW
前回大会の振り返り
- 18-19 | CHAMPIONS
歴代優勝者
- 21-26 | THE PLAYERS
注目選手紹介
- 28 | ASIA-PACIFIC GOLF CONFEDERATION
APGC「アジア太平洋ゴルフ連盟」の
ご紹介
- 29-31 | ASIAN TOUR THE PLAYERS
アジアンツアー選手紹介
- 32-33 | CHARITY ACTIVITIES
チャリティ活動への取り組み
- 35-41 | COURSE GUIDE
ギャラリーのための
観戦ポイント&見どころ
- 42-43 | COURSE MAP
コース全体図



GREETINGS ご挨拶



大会名誉会長
SASAKI MIKIO
佐々木 幹夫
三菱商事株式会社
特別顧問

「アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ」にご来場いただき、誠にありがとうございます。今年の舞台となる「武蔵カントリークラブ 笹井コース」は、名匠 井上 誠一氏設計による、伝統と歴史あるコースです。ギャラリーの皆様には、武蔵野の雄大なレイアウトで繰り広げられる、アジア太平洋地域のトッププレーヤーによる熱き戦いをご堪能いただければと思います。今年で開催50回を迎える本大会は、1969年の開催当初より、地域貢献とチャリティ精神を開催理念として重きをおいており、ゴルフ競技や大会運営を通して地域貢献、自然環境保全活動、ジュニアゴルファーの育成など、様々なチャリティ活動に力を注ぎ、これからも皆様と共に、社会へ貢献できる大会作りを目指してまいります。最後になりましたが、出場選手の皆様のご活躍をお祈りするとともに、ご来場いただきましたギャラリーの皆様、本大会の開催にあたりご支援を賜りました地元埼玉県、狭山市をはじめ数多くの自治体、関係団体の皆様、そしてご参加くださいましたボランティアの皆様に改めまして心より感謝を申し上げます。

I would like to thank all of you for attending the Asia-Pacific Open Golf Championship Diamond Cup Golf. This year, the championship is held at Musashi Country Club Sasai Course. Designed by one of the top golf course architects Seichi Inoue and set amid the magnificent Musashino landscape, this course is infused with tradition and history. I believe that this course will provide an ideal location for a riveting battle between the best players in the Asia Pacific region. Since the tournament beginning life in 1969, we have strived to make a contribution to the area where a venue is located by staging golf competitions and tournaments. We have also pursued a variety of charitable activities, from environmental conservation to the training of junior golfers. We hope to continue working with all of you to make a tournament that contributes to society. Finally, I would like to wish all of our competitors the best of luck, and I would like to thank everyone in the gallery for joining us here today. Let me also extend my deepest gratitude to Saitama Prefectural Government, Sayama City Government, and all the local government agencies, related bodies, and volunteers that provided support in order to make this tournament possible.



大会会長
FUKUI SUMIO
福井 澄郎
関西テレビ放送
株式会社
代表取締役社長

アジアを代表する選手たちが集結する、「アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ」にご来場いただきまして誠にありがとうございます。今年で節目の50回を迎える本大会は、2014年から、アジア太平洋ゴルフ連盟、日本ゴルフ協会、日本ゴルフツアー機構、アジアンツアーとの共催となり、国際色の豊かな大会となりました。毎年、全国の名門コースを会場とするサーキット形式で行われていますが、今年は埼玉県狭山市の「武蔵カントリークラブ 笹井コース」で開催いたします。関西テレビでは系列局を通じて全国の視聴者、ゴルフファンの皆様に男子ゴルフの魅力をしっかりとお伝えします。本大会の開催にあたり、多大なるご尽力を賜りました三菱商事様はじめ、関係各位の皆様へ深く感謝します。そして会場にお越し頂きましたギャラリーの皆様にあらためて御礼を申し上げます。

I feel most grateful to everyone here for coming to the Asia-Pacific Open Golf Championship Diamond Cup Golf where the representative players of Asia gather to compete. This year the championship celebrates the 50th anniversary and has been more international since 2014 when the Asia-Pacific Golf Confederation (APGC), the Japan Golf Association, the Japan Golf Tour and the Asian Tour started jointly hosting the tournament. We choose a venue among prestigious golf courses across the county every year, and Musashi Country Club Sasai Course has been selected as the venue this year. We, Kansai Television Co. Ltd., will deliver the fascination of men's golf to all the viewers and golf fans across the nation through affiliated stations. On the occasion of the opening of the tournament, I cordially appreciate those involved such as Mitsubishi Corporation for their considerable efforts and may I thank the gallery most sincerely for coming to the golf game.



GREETINGS ご挨拶



大会名誉会長
TAKEDA TSUNETADA
竹田 恆正
公益財団法人
日本ゴルフ協会 会長

本年度の「アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ」は、埼玉県狭山市の「武蔵カントリークラブ 笹井コース」が舞台となります。本大会の開催にあたり、共催のアジア太平洋ゴルフ連盟の他、三菱商事株式会社、関西テレビ放送株式会社、また競技運営にご協力いただく一般社団法人日本ゴルフツアー機構、アジアツアーの関係者の皆様により御礼申し上げます。会場となる「武蔵カントリークラブ 笹井コース」は1959年に武蔵野の面影残る林間に日本を代表する設計家の一人として知られる井上誠一氏の手により開場して以来59年の歴史をつむいできました。国内を代表する同コースでアジア太平洋地域を代表して出場する選手たちのチャレンジスピリット溢れるプレーをご堪能いただければと思います。最後になりましたが、本大会の開催に際し、多大なるご協力をいただきました会場の武蔵カントリークラブの皆様をはじめ、大会運営を支えていただく関係各位、ボランティアスタッフの皆様方に感謝申し上げます。

It is my great pleasure to welcome you all to the Asia-Pacific Open Golf Championship Diamond Cup Golf being staged at Musashi Country Club Sasai Course in Sayama, Saitama. I would like to express my gratitude to the Asia-Pacific Golf Confederation, Mitsubishi Corporation and Kansai Television Co. Ltd. for co-hosting this event, and to the Japan Golf Tour and the Asian Tour for providing assistance in championship operations. Musashi Country Club Sasai Course has a rich and long history of 59 years which began in 1959 when Seiichi Inoue, one of the most renowned Japanese golf course architects, created the original layout on a land surrounded by beautiful forest. We look forward to exciting battles among the best golfers in the Asia Pacific region at one of the most representative golf courses in Japan. Lastly, I would like to thank Musashi Country Club, volunteers and everyone involved in this event for their strong support.



大会名誉会長
MURATSU KEISUKE
村津 敬介
アジア太平洋
ゴルフ連盟 会長

「アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ」が、埼玉県狭山市の「武蔵カントリークラブ 笹井コース」で開催されますことにアジア太平洋ゴルフ連盟 (APGC) を代表して心より御礼申し上げます。昨年に続き本大会の開催にあたり、主催者の三菱商事株式会社、関西テレビ放送株式会社、公益財団法人日本ゴルフ協会、また、競技運営にご協力いただく一般社団法人日本ゴルフツアー機構、アジアツアーの関係者の皆様のご尽力には大変感謝しております。本選手権は、アジア太平洋地域のゴルフ振興に重要な役割を担っているのは勿論ですが、多くのAPGC加盟国を代表するアマチュア・プレーヤーにとって研鑽の場となっています。アジア太平洋地域を代表するプレーヤーがこの素晴らしい武蔵カントリークラブに集結し、アジアナンバーワンを決めるべく熱戦が繰り広げられることでしょう。ご来場の皆様が大会を存分に楽しんで頂けますことを、祈念しております。

On behalf of the Asia-Pacific Golf Confederation (APGC), I am delighted to welcome all of you to the Asia-Pacific Open Golf Championship Diamond Cup Golf taking place at Musashi Country Club Sasai Course in Sayama, Saitama. I would like to extend my sincere gratitude to Mitsubishi Corporation, Kansai Television Co. Ltd. and the Japan Golf Association for co-hosting this championship, and also to the Japan Golf Tour and the Asian Tour for their support. This championship not only plays an important role in promoting the game of golf in the Asia Pacific region, but also provides elite amateur golfers in the APGC member countries with a special opportunity to test their skills and strength at the highest level. The best players in the region gather at the beautiful Musashi Country Club Sasai Course and play their very best to be No. 1 in Asia. I hope all of you enjoy exciting games this week.



GREETINGS ご挨拶



大会名誉顧問

IKETANI MASANARI

池谷 正成

武蔵カントリークラブ
理事長

この度、「アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ」を我が「武蔵カントリークラブ 笹井コース」で開催されますことは、まことに光栄に存じます。さて笹井コースは井上誠一氏による設計で1959年に開場いたしました。また2013年5月から翌3月までコース改修とクラブハウスの建替えをおこないました。コースは井上氏の理解者である大久保昌氏に設計を依頼し、1グリーン化をメインとした改修工事をおこないました。改修から4年が経過し、移植した樹木等も落ちつき、本大会に向け最高のコンディションを提供できるよう準備を進めてまいりました。選手の皆様には持てる力を遺憾なく発揮されることを期待しております。最後に本大会の開催にあたり、ご尽力を賜りました三菱商事をはじめ、関西テレビ、大会関係者、埼玉県、狭山市をはじめとする各市町村、当クラブ会員、ボランティアの皆様から感謝申し上げます。

I would be honored that the Asia-Pacific Open Golf Championship Diamond Cup Golf is taking place at our Musashi Country Club Sasai Course. Sasai Course is designed by Seiichi Inoue and opened in 1959. From May 2013 through March 2014, we renovated the course and reconstructed the clubhouse. Sho Okubo, who understands Seiichi Inoue the most, designed the new course primarily to convert to a one-green system. It has been four years since the completion of the course renovation, and now replanted trees are fit naturally into the course. We have been carefully proceeding with preparations to present the course in top condition for this tournament. I hope every player tries for all one is worth. Lastly, I would like to express my sincere appreciation to Mitsubishi Corporation, Kansai Television Co. Ltd., all those involved in management, Saitama Prefectural Government, local municipal governments including Sayama City, our Club Members, and volunteers for their considerable cooperation.



TOURNAMENT FACTS

大会実施要項

大会名称	アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ2018
主催	アジア太平洋ゴルフ連盟／関西テレビ放送／三菱商事 日本ゴルフ協会
共同主管	日本ゴルフ協会／日本ゴルフツアー機構／アジアンツアー
後援	スポーツ庁／日本ゴルフトーナメント振興協会／ フジテレビ／埼玉県／狭山市／入間市／飯能市 武蔵カントリークラブ
協力	関東ゴルフ連盟
企画運営	ダンロップスポーツエンタープライズ／アサツー ディ・ケイ
開催日程	2018年 9月17日(月・祝) マンデートーナメント／指定練習日 9月18日(火) アマプロチャリティトーナメント／指定練習日 9月19日(水) 指定練習日 9月20日(木) 第1ラウンド(予選ラウンド) 9月21日(金) 第2ラウンド() 9月22日(土) 第3ラウンド(決勝ラウンド) 9月23日(日・祝) 第4ラウンド()
開催場所	武蔵カントリークラブ 笹井コース 〒350-1327 埼玉県狭山市笹井412 TEL:04-2953-2101
競技方法	参加を承認された132人の競技者が本競技の正式参加者となる。 第1ラウンド 18ホール・ストロークプレー 第2ラウンド 18ホール・ストロークプレー ※36ホールを終わり、60位タイまでの者が第3ラウンドおよび 第4ラウンドに進出する。 第3ラウンド 18ホール・ストロークプレー 第4ラウンド 18ホール・ストロークプレー ※本競技は36ホール終了をもって成立とする。 ※第2ラウンドの終了後、第3ラウンドのスタート時刻ならびに 組み合わせが発表された後に第2ラウンドまでの競技失格者等が出て、 60位タイのストローク数に変更があった場合でも 第3ラウンド以降に進出する選手は追加しない。
出場人数	132名(予定)
出場選手	アマチュア、プロフェッショナル(日本ツアー、アジアンツアー、 ワールドランキング)出場有資格者

テレビ 放送

関西テレビ制作
フジテレビ系全国ネット&BSフジにて放送予定

9月20日(木)	15:00~17:00(BSフジ)
9月21日(金)	15:00~17:00(BSフジ)
9月22日(土)	12:00~14:25(BSフジ) 14:35~15:50(フジテレビ)
9月23日(日)	10:00~12:00(BSフジ) 16:05~17:35(フジテレビ)

TOURNAMENT FACTS

賞金・優勝副賞・特別賞

賞金総額 **¥150,000,000**

優勝賞金 **¥ 30,000,000**

優勝副賞 **ECLIPSE CROSS**

G Plus Package

提供：三菱自動車



三菱録画テレビ REAL 4K (LCD-A58RA1000) 提供：三菱電機

キリン 一番搾り350ml缶 1年分 提供：KIRIN

特別賞

ホールインワン賞(16番ホール)

賞金**¥3,000,000** 提供：三菱商事

※決勝ラウンド2日間に対象ホールにてホールインワンを達成した選手
(該当者複数の場合、複数均等割)

ベストスコア賞

賞金**¥1,000,000** 提供：KIRIN

※大会4日間を通して、ベストスコアでプレーした選手
(該当者複数の場合、複数均等割)

ドライビングディスタンス賞(11番・17番ホール)

賞金**¥1,000,000** 提供：三菱倉庫

※大会4日間を通して、対象ホールにて平均飛距離が第1位の選手

イーグル賞(17番ホール)

賞金**¥1,000,000** 提供：三菱重工

※決勝ラウンド2日間に、対象ホールにてイーグルを達成した選手
(該当者複数の場合、複数均等割)



TOURNAMENT FACTS

大会役員

大会名誉会長

佐々木 幹夫 竹田 恆正 村津 敬介

大会会長

福井 澄郎

大会副会長

小林 健

大会名誉顧問

垣内 威彦 長岡 孝 宮下 功 磯崎 功典 益子 修 杉山 武史
 木滑 和生 根岸 秋男 北沢 利文 吉田 淳一 宮永 俊一 藤倉 正夫
 日枝 久 横田 雅文 植野 伸一 青木 功 石原 俊爾 ジョッシュ・バラック
 永田 圭司 川口 文夫 池谷 正成

大会顧問

村越 晃 荒木 三郎 柴山 育朗 布施 孝之 深澤 潔 永澤 淳
 尾島 祐輔 大西 忠 寺林 努 西貝 昇 泉澤 清次 若林 仁
 飯森 睦尚 尾谷 牧夫 谷口 泰規 宮川 慶一 春日均 山中 博史
 戸張 捷 小倉 正 諸戸 精孝 佐野 文範 相馬 和胤 溝口まち子
 荻野 隆義 浅川 辰彦 宮坂 文一 山本 滋彦

大会委員

判治 孝之 加賀 保弘 米田 雅行 大野 知法 萩原 修 関 邦彦
 安達 利也 田口 寛 後藤 浩之 久保 人司 小美野 一 前川 昌範
 伊東 亮 大場 英幸 喜多 隆 寺田 孝志 内野 秀治 大木 秀昭
 小川 敬雄 小川 裕 金原 優 齊藤 正明 清水 謙一 須崎 昭平
 西條 温 野間 省伸 深尾 周一 古谷 太一 森 一郎 山田 裕祥
 澤田 寿一 中村 武照 楢原 泰信 成田 純治 黒田 清嗣 尾関 秀夫
 土川 丈夫 齋藤 金作 松野 洋一 垣水 孝一 多々良 義成

大会事務局長

中井 勝基

競技役員

ゼネラルプロデューサー

戸張 捷

トーナメントプロデューサー

大部 一成

トーナメントディレクター

林 忠男

チーフセッティングディレクター

木下 幸一

セッティングディレクター

勝又 正浩 諸戸 清光 二宮 薫

チーフレフェリー

鈴木 淳

レフェリー

ジティサック・タンブラースト チョクチャイ・ブーンブラースト 松島 俊秀 荒井 成維
 小山 俊一 加納 美智雄 大木 陸 有賀 淳 松山 浩晃

2017 REVIEW



片岡大育が大逆転で優勝!

1st ROUND

ベテラン高山が首位
スタート! 追う本大会
2勝のキム・キョンテ

ベテラン高山忠洋が初日、自己最多の10バーディー、1ボギーの62をマーク。9アンダーで首位へ。2打差の2位にこのダイヤモンドカップで過去2勝のキム・キョンテがつけた。高校2年生の中島啓太アマは4アンダーで8位につける。

2nd ROUND

2日目も高山劇場!
首位をキープし、
決勝ラウンドへ

初日首位の高山忠洋はこの日も好調。ボギーなしの66でまわり、通算14アンダーまで伸ばす。2位にはタイの新鋭P・サクサンシンが浮上し、日本期待の若手・今平周吾も2位に並ぶ。

3rd ROUND

高山が失速。
しかし、首位をキープし
混戦模様!

初日から首位をキープしていた高山忠洋がこの日73を叩き、失速。タイのP・サクサンシンは通算12アンダーで並んでフィニッシュ。5位からスタートした片岡大育が1打差の3位にあがる。

Final ROUND

最終日は
劇的な展開に。
片岡が大逆転勝利!

序盤からP・サクサンシンが抜け出し、一時は2位に4打差のリードを奪う。しかし、9番でまさかのトリプルボギー。高山忠洋も粘りを見せ、14番で首位に振り返り。しかし、16、17番で連続バーディーを獲った片岡大育が劇的な逆転優勝。ツアー3勝目をあげた。

50th DIAMOND CUP GOLF CHAMPIONS 1969-2017

ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP DIAMOND CUP GOLF



1969年、「ダンロップトーナメント」としてはじまった本大会は、1977年に「三菱ギャラントーナメント」として生まれ変わりました。そして毎年、全国の名門コースを会場とするサーキット形式で開催されるようになります。その後、幾度かの名称変更を経て、2014年からは「アジアパシフィックオープンゴルフ チャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ」として開催。今回が50回の節目の大会となります。

アジアパシフィックオープン ゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ

- 2017 片岡 大育
カレドニア・ゴルフクラブ/千葉県
- 2016 詹世昌(セン・セシヨウ)
茨木カンツリー倶楽部 西コース/大阪府
- 2015 金庚泰(キム・キョンテ)
大利根カントリークラブ 西コース/茨城県
- 2014 藤田 寛之
大利根カントリークラブ 西コース/茨城県

ダイヤモンドカップゴルフ

- 2013 松山 英樹
大洗ゴルフ倶楽部/茨城県
- 2012 藤田 寛之
ザ・カントリークラブ・ジャパン/千葉県
- 2011 小田 孔明
千葉カントリークラブ梅郷コース/千葉県
- 2010 金庚泰(キム・キョンテ)
狭山ゴルフクラブ/埼玉県

三菱ダイヤモンドカップゴルフ

- 2009 兼本 貴司
大洗ゴルフ倶楽部/茨城県
- 2008 プラヤド・マークセン
東広野ゴルフ倶楽部/兵庫県
- 2007 平塚 哲二
大洗ゴルフ倶楽部/茨城県
- 2006 横尾 要
狭山ゴルフクラブ/埼玉県
- 2005 I・J・ジャン
東広野ゴルフ倶楽部/兵庫県
- 2004 平塚 哲二
大洗ゴルフ倶楽部/茨城県

ダイヤモンドカップトーナメント

- 2003 トッド・ハミルトン
大洗ゴルフ倶楽部/茨城県
- 2002 中嶋 常幸
狭山ゴルフクラブ/埼玉県
- 2001 伊澤 利光
大洗ゴルフ倶楽部/茨城県

三菱自動車トーナメント

- 2000 宮瀬 博文
蒲生ゴルフ倶楽部/滋賀県
- 1999 米山 剛
レイクグリーンゴルフ倶楽部/岐阜県

三菱ギャラントーナメント

- 1998 谷口 徹
土佐カントリークラブ/高知県
- 1997 尾崎 将司
太平洋クラブ六甲コース/兵庫県
- 1996 尾崎 将司
大洗ゴルフ倶楽部/茨城県
- 1995 ブラント・ジョーブ
阿蘇プリンスホテルゴルフ場/熊本県
- 1994 友利 勝良
北海道早来カントリークラブ/北海道
- 1993 陳志忠(チン・シチュウ)
大洗ゴルフ倶楽部/茨城県
- 1992 青木 功
南部富士カントリークラブ/岩手県
- 1991 鈴木 弘一
能登カントリークラブ/石川県
- 1990 青木 功
ゴールデンバレーゴルフ倶楽部/兵庫県
- 1989 尾崎 健夫
熊本空港カントリークラブ/熊本県

- 1988 ブライアン・ジョーンズ
大沼レイクゴルフクラブ/北海道
- 1987 ブライアン・ジョーンズ
ハインレークゴルフクラブ/兵庫県
- 1986 中嶋 常幸
大洗ゴルフ倶楽部/茨城県
- 1985 ブライアン・ジョーンズ
久米カントリークラブ/岡山県
- 1984 安田 春雄
能登カントリークラブ/石川県
- 1983 中嶋 常幸
南部富士カントリークラブ/岩手県
- 1982 グラハム・マーシュ
久米カントリークラブ/岡山県
- 1981 呂西鈞(ルー・シーチュエン)
大日向カントリー倶楽部/栃木県
- 1980 中嶋 常幸
名神八日市カントリークラブ/滋賀県
- 1979 中村 通
大洗ゴルフ倶楽部/茨城県
- 1978 中村 通
南部富士カントリークラブ/岩手県
- 1977 許勝三(キョ・シヨウサン)
能登カントリークラブ/石川県

ダンロップトーナメント

- 1976 横島 由一
能登カントリークラブ/石川県
- 1975 鈴木 規夫
能登カントリークラブ/石川県
- 1974 グラハム・マーシュ
姉ヶ崎カントリー倶楽部/千葉県
- 1973 ベン・アルダ
鶴舞カントリー倶楽部 西コース/千葉県
- 1972 グラハム・マーシュ
箕面ゴルフ倶楽部/大阪府
- 1971 ピーター・トムソン
箕面ゴルフ倶楽部/大阪府
- 1970 安田 春雄
箕面ゴルフ倶楽部/大阪府
- 1969 河野 高明
箕面ゴルフ倶楽部/大阪府

「アジアパシフィックオープンゴルフ」は、2000年と2001年に「キリンオープン」として開催されました。その後、6年間は未開催でしたが、2008年からはアジアンツアーも加わり、「パナソニックオープン」として復活。2014年には現在の「アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ」として新たな歴史を刻み続けています。

アジアパシフィックオープンゴルフ チャンピオンシップ パナソニックオープン

- 2013 川村 昌弘
茨木カンツリー倶楽部 西コース/大阪府
- 2012 小林 正則
東広野ゴルフ倶楽部/兵庫県
- 2011 平塚 哲二
琵琶湖カントリー倶楽部 東・三上コース/滋賀県
- 2010 ブレندان・ジョーンズ
六甲国際ゴルフ倶楽部 東コース/兵庫県
- 2009 丸山 大輔
城陽カントリー倶楽部 東・西コース/京都府
- 2008 谷原 秀人
茨木カンツリー倶楽部 西コース/大阪府

アジアパシフィックオープンゴルフ 選手権競技 キリンオープン

- 2001 片山 晋呉
茨城ゴルフ倶楽部 東コース/茨城県
- 2000 片山 晋呉
茨城ゴルフ倶楽部 東コース/茨城県

注目の選手をピックアップ!!

THE PLAYERS

ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP DIAMOND CUP GOLF 2018

- ①所属
- ②生年月日(年齢)※2018年9月23日現在
- ③出身地
- ④ツアー通算勝利数
- ⑤2018年度賞金ランキング(海外メジャー含む)
※2018年8月20日現在



片岡大育

Daisuke KATAOKA

- ①日立キャピタル ②1988年10月17日(29歳)
- ③高知県 ④3勝
- ⑤2018年ランキング 99位

ツアー3勝目を挙げた昨大会の大逆転劇は記憶に新しい。2007年11月にプロ転向し、15年「関西オープン」でツアー初優勝。正確なショットとバットには定評がある。



金庚泰

Kyung-Tae KIM

- ①新韓銀行 ②1986年9月2日(32歳)
- ③韓国 ④13勝
- ⑤2018年ランキング 22位

日本ツアー本格参戦11年目。本大会でツアー初優勝を飾った2010年に韓国選手初の賞金王に輝いた。2度目の賞金王となった15年も本大会で優勝と相性の良さは抜群だ。



藤田寛之

Hiroyuki FUJITA

- ①葛城GC ②1969年6月16日(49歳)
- ③福岡県 ④18勝
- ⑤2018年ランキング 71位

本大会は2012、14年と2度の優勝。40歳となった09年以降に12勝を挙げ、12年には初の賞金王を獲得。今年は40代ラストイヤーとなる。



川村昌弘

Masahiro KAWAMURA

- ①Antenna(アンテナ) ②1993年6月25日(25歳)
- ③三重県 ④1勝
- ⑤2018年ランキング 15位

プロデビューした2012年から賞金シードを獲得。翌年のAPO/パナソニックOPでツアー初優勝。今年7月には初出場した憧れの「全英オープン」で39位に入った。



重永亜斗夢

Atomu SHIGENAGA

- ①ホームテック ②1988年9月14日(30歳)
- ③熊本県 ④1勝
- ⑤2018年ランキング 11位

9歳からゴルフを始め、日大を中退後、プロ転向。今年4月の国内開幕戦「東建ホームメイトカップ」で石川遼を1打差で振り切り、念願のツアー初優勝を飾った。

※選手データは8月20日現在

PLAYERS

PLAYER

THE PLAYERS ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP DIAMOND CUP GOLF 2018



谷口徹

Toru TANIGUCHI

①フリー ②1968年2月10日(50歳)
③奈良県 ④20勝
⑤2018年ランキング 5位

1998年の本大会でツアー初優勝。2002、07年には賞金王に輝く。今年5月の「日本プロ」を大会史上最年長の50歳で制し、通算20勝を達成。健在ぶりを示した。



時松隆光

Ryuko TOKIMATSU

①筑紫ヶ丘GC ②1993年9月7日(25歳)
③福岡県 ④3勝
⑤2018年ランキング 1位

4歳のときに心臓の手術を受け、父の勧めで5歳からゴルフを始める。2016年にツアー初優勝。今季は「関西オープン」で優勝。クラブの持ち方(ベースボールグリップ)が特徴的。



秋吉翔太

Shota AKIYOSHI

①ホームテック ②1990年7月22日(28歳)
③熊本県 ④2勝
⑤2018年ランキング 2位

ツアーデビューから8年目の今季は5月の「ミズノオープン」で初優勝。その4週間後に早くも2勝目を挙げ「全米オープン」、「全英オープン」に初出場を果たすなど大ブレイク。



市原弘大

Kodai ICHIHARA

①フリー ②1982年5月29日(36歳)
③東京都 ④1勝
⑤2018年ランキング 3位

高校時代に「日本ジュニア」で優勝。今季は36歳となった直後の「日本ツアー選手権」で悲願のツアー初優勝。プロ18年目で大きな花を咲かせた。



今平周吾

Shugo IMAHIRA

①レオパレスリゾートグナム
②1992年10月2日(25歳) ③埼玉県 ④1勝
⑤2018年ランキング 7位

埼玉栄高1年時の「日本ジュニア」で松山英樹を抑えて優勝。昨年の「関西オープン」でツアー初優勝。キャディーも務めた若松菜々恵さんと今オフ結婚予定。今後が期待される若手代表。

①所属 ②生年月日(年齢) ※2018年9月23日現在 ③出身地 ④ツアー通算勝利数
⑤2018年度賞金ランキング(海外メジャー含む) ※2018年8月20日現在
※選手データは8月20日現在

PLAYERS

THE PLAYERS ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP DIAMOND CUP GOLF 2018



小平智

Satoshi KODAIRA

①Admiral ②1989年9月11日(29歳)
③東京都 ④6勝
⑤2018年ランキング 4位

今季は初出場の米PGA「マスターズ」で28位、「RBCヘリテージ」で日本人史上5人目の米ツアー優勝を果たす。妻の元賞金女王 古閑美保とともに日本の頂点を目指す。



石川遼

Ryo ISHIKAWA

①CASIO ②1991年9月17日(27歳)
③埼玉県 ④14勝
⑤2018年ランキング 18位

2013年から米ツアーに本格参戦も、ケガと不調に悩む。今季は日本ツアーに完全復帰。開幕戦でいきなり優勝争いをするなど、新選手会長としてもツアーを盛り上げる。



星野陸也

Rikuya HOSHINO

①フリー ②1996年5月12日(22歳)
③茨城県 ④0勝
⑤2018年ランキング 20位

恵まれた体格から放たれる飛距離が持ち味。デビュー2戦目の2016年の本大会で序盤に優勝争いし、注目を集めた。昨年は下部ツアーで初優勝。石川遼の弟的存在。



稲森佑貴

Yuki INAMORI

①フリー ②1994年10月2日(23歳)
③鹿児島県 ④0勝
⑤2018年ランキング 14位

高校2年時の2011年のプロテストに一発合格。15年「ブリヂストンオープン」など2度の2位が自己最高位。フェアウェーキープ率は15年から3年連続1位を誇る。



小鯛竜也

Tatsuya KODAI

①フリー ②1990年2月1日(28歳)
③大阪府 ④1勝
⑤2018年ランキング 35位

2007年、17歳でプロ転向。16年に下部ツアーで初優勝。昨年、「マイナビABC選手権」で念願のツアー優勝を飾った。大阪出身で明るい人柄が魅力。

①所属 ②生年月日(年齢)※2018年9月23日現在 ③出身地 ④ツアー通算勝利数
⑤2018年度賞金ランキング(海外メジャー含む)※2018年8月20日現在
※選手データは8月20日現在

THE PLAYERS

ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP DIAMOND CUP GOLF 2018



大堀 裕次郎

Yujiro OHORI

①フリー ②1991年11月20日(26歳)
③兵庫県 ④0勝
⑤2018年ランキング 34位

2013年、大阪学院大4年時に「日本アマ」で優勝。飛距離を武器に昨年は2度の最終日最終組を経験するなど初優勝が待たれる逸材。



宮里 優作

Yusaku MIYAZATO

①フリー ②1980年6月19日(38歳)
③沖縄県 ④7勝
⑤2018年ランキング 27位

33歳でツアー初優勝。昨季は年間4勝を挙げ、最終戦で初の賞金王を決めた。今年7月の「全英オープン」で47位。4度目の挑戦で嬉しい初の予選通過を果たした。



池田 勇太

Yuta IKEDA

①フリー ②1985年12月22日(32歳)
③千葉県 ④19勝
⑤2018年ランキング 29位

2年連続の賞金王は逃すも、昨年は3年ぶりに「日本オープン」を制するなど3勝をマーク。2009年の初Vから9年連続で勝利を挙げている。安定した強さが光る。



Y・E・ヤン

Y. E. YANG

①NOW ON ②1972年1月15日(46歳)
③韓国 ④5勝
⑤2018年ランキング 8位

今年4月の「中日クラウンズ」で12年ぶりの優勝。09年PGAメジャー「全米プロ」でアジア人初の覇者となった。今年には日本ツアーにフル参戦の予定。



B・ケネディ

Brad KENNEDY

①アクシネット ②1974年6月18日(44歳)
③オーストラリア ④3勝
⑤2018年ランキング 9位

2011年から日本ツアーに参戦。12年に初優勝を飾る。今季は7月の「セガサミーカップ」で最終日に4打差を逆転して5年ぶりの3勝目。小技のうまさには定評がある。

①所属 ②生年月日(年齢)※2018年9月23日現在 ③出身地 ④ツアー通算勝利数
⑤2018年度賞金ランキング(海外メジャー含む)※2018年8月20日現在
※選手データは8月20日現在

PLAYERS ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP DIAMOND CUP GOLF 2018

ASIA-PACIFIC GOLF CONFEDERATION

アジア太平洋ゴルフ連盟とは

今から55年前の1963年、フィリピンで開催された第1回アジアアマチュアゴルフチーム選手権をきっかけにアジア太平洋地域のゴルフの普及を目的とした統括団体、アジア太平洋ゴルフ連盟 (APGC) が発足しました。それから半世紀以上を経て、現在は41カ国・45団体が加盟 (下図参照)。加盟地域でのゴルフの発展と普及、国際ゴルフ連盟 (IGF) などとの連携を通じて世界のゴルフ団体と交流を深め、R&AやUSGAが定めるゴルフ規則が加盟地域で遵守されるように促すことを活動の目的としています。今年度も「アジアパシフィックアマチュア選手権」、「アジアパシフィック女子アマチュア選手権」などを主催しています。

加盟団体 41カ国・45団体

オーストラリア、アメリカ領サモア、バーレーン、 Bangladesh、ブータン、カンボジア、中国、台湾、クック諸島、フィジー、インドネシア、グアム、香港、インド、イラン、イラク、日本、ヨルダン、韓国、キルギス、ラオス、レバノン、マカオ、マレーシア、マレーシア女子、モンゴル、ミャンマー、ネパール、ニュージーランド、オマーン、パキスタン、バプアニューギニア、フィリピン、フィリピン女子、カタール、サモア、サウジアラビア、シンガポール、シンガポール女子、ソロモン、スリランカ、タイ、タイ女子、アラブ首長国連邦、ベトナム

三菱商事はAPGC主催の「APGC Junior Championship Mitsubishi Corporation Cup」に協賛。アジア太平洋地域のジュニアゴルファーの育成を支援しています。



アジアを主戦場とする強者たち

ASIAN TOUR THE PLAYERS

ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP DIAMOND CUP GOLF 2018



- ① 出身国
- ② 生年月日 (年齢)
- ③ アジアンツアー通算勝利数
- ④ 2018年の主な戦績

アジアンツアーとは

東南アジアを中心に開催されているプロゴルフツアー。かつては「アジアサーキット」とも呼ばれていたが、さまざまな経緯をへて2004年に「アジアンツアー」としてスタート。他ゴルフツアーとの共催によって年々試合数は増加し、現在はアメリカPGAツアー、ヨーロッパツアーに次ぐ世界3番目の規模に成長。今後もアジア各国の有望選手のみならず、世界の主力派ゴルファーの活躍が期待されるツアーである。



S・カプール
Shiv Kapur

- ① インド
- ② 1982年2月12日 (36歳)
- ③ アジアンツアー3勝
- ④ ロイヤルカップ2位タイ



G・ブラー
Gaganjeet Bhullar

- ① インド
- ② 1988年4月27日 (30歳)
- ③ アジアンツアー9勝
- ④ フィジーインターナショナル優勝



J・ジェーンワタナノンド
Jazz Janewattanond

- ① タイ
- ② 1995年11月26日 (22歳)
- ③ アジアンツアー2勝
- ④ クイーンズカップ優勝



P・ピッタヤラット
Panuphol Pittayarat

- ① タイ
- ② 1993年2月4日 (25歳)
- ③ アジアンツアー2勝
- ④ タイランドオープン優勝

※選手データは8月6日現在

ASIAN

ASIAN TOUR

ASIAN TOUR ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP DIAMOND CUP GOLF 2018 THE PLAYERS



- ① 出身国
- ② 生年月日(年齢)
- ③ アジアンツアー通算勝利数
- ④ 2018年の主な戦績



R・ガンジー
Rahil Gangjee

- ① インド
- ② 1978年10月2日(39歳)
- ③ アジアンツアー2勝
- ④ パナソニックオープン優勝



X・ボーウェン
Xiao Bowen

- ① 中国
- ② 1990年2月1日(28歳)
- ③ アジアンツアー1勝
- ④ アジアパシフィッククラシック12位タイ



P・サクサンシン
Poom Saksansin

- ① タイ
- ② 1993年6月4日(25歳)
- ③ アジアンツアー2勝
- ④ タイランドオープン2位



P・タンカモルプラースト
Pavit Tangkamolprasert

- ① タイ
- ② 1989年5月2日(29歳)
- ③ アジアンツアー1勝
- ④ クイーンズカップ3位タイ



S・ビンセント
Scott Vincent

- ① ジンバブエ
- ② 1992年5月20日(26歳)
- ③ アジアンツアー未勝利
- ④ インドネシアオープン2位



M・タブエナ
Miguel Tabuena

- ① フィリピン
- ② 1994年10月13日(23歳)
- ③ アジアンツアー1勝
- ④ クイーンズカップ5位

※選手データは8月6日現在

CHARITY ACTIVITIES

チャリティ活動への取り組み～社会に貢献できる大会を目指して～

記念の50回大会をむかえた本大会は、開催目的の大きな柱にチャリティ活動を据えています。この趣旨については、主催者、協賛社、出場選手、開催コース、ギャラリーの皆様など、すべての方々にご協力と賛同をいただいております。



ジュニアゴルファーの育成支援

本大会は2020年に開催される東京オリンピックでの日本選手の活躍を期待し、将来のゴルフ界を担っていくジュニアゴルファーの育成をサポートしていきます。また、日本ゴルフ協会を通じて、様々なジュニア育成活動も支援してまいります。昨年12月15日には2017年大会で集まったチャリティ金の中から、ジュニアゴルファーへの育成助成金として200万円を寄贈させて頂きました。



環境配慮活動 「はじめての第一歩!」への支援

「はじめての第一歩!」とは、日本ゴルフツアー機構(JGTO)が取り組む、ゴルフトーナメントを通じての地球環境問題を考えるプロジェクトのことで、大会運営において、温室効果ガス削減の取り組みや、長野県にて「ゴルフの森」と名付けられた森林の整備などの活動を行っています。本大会は2010年からこのプロジェクトへのチャリティ金寄贈を続けており、これまでに総額400万以上の支援をさせて頂いています。そして今後もこういった環境保全活動は続けていく予定です。



地元の皆様への貢献活動

トーナメント開催地への貢献活動は本大会の大きなテーマです。今回も地元、埼玉県狭山市の皆様への活動として地元小学校と連携し、ゴルフ場コース内での見学やメディアの制作現場を体験してもらう「校外学習プログラム」などを充実させる予定です。



難民支援活動

本大会は、国内だけでなく世界で起こっている様々な問題にも目をむけています。今回、国連UNHCR協会を通じて、ロヒンギャ難民危機への支援金として162万5402円を寄贈しました。今後も、本大会は時勢が必要としていることにチャリティを続けていく予定です。



ギャラリーのための観戦ポイント&見どころ

COURSE GUIDE

MUSASHI COUNTRY CLUB SASAI COURSE

豪快さと繊細さが求められる各ホール。
ティースhotsに注目。
笹井コース特有の難解グリーン。
プロが魅せる技は必見。

協力:岩本 高志プロ
取材:阿部 慎(サンケイスポーツ)

KEYHOLE FRONT9

キーホールは
3番、4番、6番。

伸ばせるホールとそうではないホールがはっきりしている。前半の難しい2番をしのげば、チャンスのあるホールが続く。距離の短いパー3の3番、続く4番も距離が短いホールとなるためしっかり伸ばしたい。好ショットを打ってチャンスを活かすことができれば、多くのバーディーが取れる可能性は十分にある。

KEYHOLE BACK9

キーホールは
15番、17番、18番。

1オンも狙えるパー4の15番では、バーディーを確実に取りたい。終盤になるにつれてティースhotsにメリハリがついてくる。17番はバーディーが取れるホールだが、18番はティースhotsでプレッシャーがかかる。飛距離ではなく、ショットの正確性が問われる。

MUSASHI COUNTRY CLUB SASAI COURSE
COURSE GUIDE 1st-6th

ギャラリーのための
 観戦ポイント&見どころ

1番ティー。
 クラブ選択に注目



1st 409Y
 PAR4

フェアウェイの両サイドにバンカーがあり、ドライバーを握らずにきざむ選択肢もある。グリーン右のマウンドから、選手の攻め方に注目!

ピンそばに
 どこまで寄れるか!?



4th 369Y
 PAR4

距離が短く、プロなら2打目でピンにビシビシ狙ってくる。スピンをコントロールしたウェッジでの勝負をグリーン付近で注目したい。

2打目勝負を
 見逃すな



2nd 512Y
 PAR4

長いパー4。2打目が勝負も、グリーン手前にはバンカーが3つあり要注意。グリーン周りのアプローチも重要になる。

FWバンカーから
 どう攻める?



5th 444Y
 PAR4

見た目は広いが、左右のフェアウェイバンカーが効いている。グリーンも狭く簡単にバーディーは取れない。アイアンショットがカギをにぎる。

風の読みが重要



3rd 172Y
 PAR3

ティーインググラウンドが吹き抜けのため、風の影響を受けやすい。4つのバンカーが効いているが、ピン位置によっては、十分狙えるグリーンだ。

バーディーが
 欲しいホール



6th 551Y
 PAR5

フェアウェイからの2オン狙いも、グリーン手前の池が効いている。2段グリーンは左サイドは池に向かって傾斜しており、パッティングは難度が高い。

COURSE GUIDE 7th-12th

ギャラリーのための
観戦ポイント&見どころ

パットが勝負の
分かれ目



7th 418Y
PAR4

バンカーが1つもないチャンスホール。ティーショットの打ちづらさはなく、勝負はグリーン上になる。複雑なグリーン面のパットに注目。



10th 427Y
PAR4

左サイドからの
攻めに注目

右サイドにOBゾーンがあるため、第1打は左サイドが狙い目。グリーン右奥のマウンドから、第2打とグリーン上が見渡せる。



難解なグリーン。
どう攻める!?

8th 395Y
PAR4

グリーン前のバンカーが視覚的に打ちづらくさせるホール。グリーン上は面が3つあり、難度が増している。チャンス位置についても気が抜けないホールだ。



プロの飛距離を
見逃すな

11th 574Y
PAR5

左サイドの大きなバンカー近くでは、2オン狙いもフェアウェイバンカーショットも見る事ができるが、グリーンは見た目より狭く感じる。グリーン周りのウェッジショットが勝負の分かれ目。



絶対
落とせない
パー3

9th 212Y
PAR3

何でもないように見えて、ミスしてしまいそうなパー3。攻めのセオリーは左サイドから。グリーン上でのプロのパットを見逃すな!



クラブ選択が難しい
トリッキーホール

12th 396Y
PAR4

グリーンに近づくにつれて圧迫感が増すため、第1打からクラブ選択を含めて戦略性が求められる。ティーインググラウンドの後ろからプロの1打を見よう。

COURSE GUIDE 13th-18th

ギャラリーのための観戦ポイント&見どころ

距離の長い
やっかいなパー3



13th 240Y
PAR3

最も距離が長いパー3は、グリーン右サイドが広いので、右に外す分にはOK。プロのパーの取り方を、グリーン右サイドから必見だ。

もっとも景観が
美しいホール



16th 153Y
PAR3

距離が短く、風をしっかり読めればバーディーの可能性が高まるホール。プロがピンポイントに狙う姿を、グリーン奥から見てみたい。

両サイドの松が
効いている



14th 431Y
PAR4

両サイドの松が視覚的に狭く感じさせる。ティーショットでプロが放つ独自の持ち球に注目。ティーインググラウンドの後ろから、球の軌道を追ってみよう。

勝負のかかるパー5
2打目がポイント



17th 563Y
PAR5

ティーショットにプレッシャーがかからないホール。勝負の分かれ目は2打目以降。グリーン左奥のマウンドから、見守りたい。

1オン狙い!?
勝負に出るプロは誰?



15th 354/302Y
PAR4

距離が短くチャンスも増えるバーディーホール。ティー位置次第では1オンも狙える。グリーン近くでティーショットから見る価値あり。

精神力が問われる
最終ホール



18th 440Y
PAR4

少し曲がれば林に入るため、フェアウェイキープが必須。持ち球をどれだけコントロールできているか、この最終ホールは精神力が問われるホールだ。

COURSE MAP



MUSASHI CC
SASAI COURSE
SINCE 1959

YARDAGE

HOLE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
YARDS	409	512	172	369	444	551	418	395	212	3,482	
PAR	4	4	3	4	4	5	4	4	3	35	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
YARDS	427	574	396	240	431	$\frac{354}{302}$	153	563	440	3,578	7,060
PAR	4	5	4	3	4	4	3	5	4	36	71



INFORMATION

- ギャラリーゲート GALLERY GATE
- スコアボード LEADERBOARD
- 総合案内所 INFORMATION
- ギャラリースタンド GALLERY STAND
- トイレ TOILETS
- バス乗降場 BUS STOP
- ギャラリープラザ GALLERY PLAZA
- ギャラリー売店 FOOD AND DRINK SHOP
- 物品販売&協賛社ブース GALLERY GATE
- フォトサービス PHOTO SERVICE
- 避雷小屋 SHELTER
- コース売店 COURSE SHOP